

合)所屬ノ同盟員ハ、當該勞働組合組織ノ共產黨ノフタクシヨニ加入シ、ソノ會議ニ參加シ、黨フタクシヨニ執行部ノ直接ノ指令ノ下ニ活動スルト同時ニ、黨フタクシヨニ内ノ青年フタクシヨントシテ同盟執行部ノ指令ノ下ニ組織サレ、ソレ自身ノ執行部ヲ持ツト持タザルトニ拘ハラズ當該組織ノ青年勞働者ノ特殊問題ヲ取扱ツテ活動スベキデアル。

同盟ハ一切ノ大衆組織、殊ニ勞働組合内ニ於ケルフタクシヨニ活動ヲ活潑化シ、ソノ指導ヲ強化スルタメニ、同盟指導機關ノ下ニ、勞働組合委員會ヲ作ツテ獨自ノ青年政策ノ確立遂行ヲ促進スル必要ガアルデアラウ。同盟ガ勞働組合活動ニ參加シ、ソノ青年政策ヲ遂行スルニ當ツテ特ニ注意スベキハ、從來屢々見ラレタヤウニ、勞働組合ヤ農民組織殊ニ全協ヤ全農全會派ヲ「補助組織」視シ、コレヲ組織外カラ指揮シ命令スル態度ヲ改メネバナラヌトイフコトデアル共產主義者ハ如何ナル場合ニモ、勞働組合其他一切ノ黨外大衆組織

ニ對スル指導ニ當ツテハ(全協ノ如キ革命的組織ニ對スル場合ニハ勿論ノコト)ソノ内部ニ於ケル積極的活動ト不斷ノ正シキ思想的影響力トニヨツテ指導シ、說得シ、「タダ說得ニヨツテノミ」吾々ノ革命的提議ニ賛成セシムベキデアツテ、苟メニモ指揮シ、命令シ、甚シキハ「日和見主義者」「裏切者」等々ノヤツツケ主義ノ威嚇ニヨツテ強制スルガ如キ事ガアツテハナラヌ。

五

滿洲戰爭開始ノ最初ノ一ケ年間ニ於テハ、同盟モ黨ト共ニ、ソノ反戰圖争ニ多クノ卓越シタ成果ヲ殘シタ。然ルニ同盟ハソノ彼ニ至ツテ、戰爭ト天皇制テロルニ對スル圖争ニ於テ殆ンド拋棄ニ等シイ日和見主義的受動性ヲ示シ、時ニ危險ナル幾多ノ右翼的偏向ヲサヘ曝露スルニ至ツタ。

同盟ハ七・一ノ東支鐵道奪取反對カンパニ於テハ、ソノ提唱團體デアルニモ拘ハラズ無青紙上ノ一般的ナ、極メテ不十分ナ煽動宣傳